

“笑顔かがやき 心かよう 美しいまち”

# 平成29年度 施政方針と予算



**平**成29年度予算は、持続可能で健全な財政運営の確保を念頭に、行財政改革を推進しながら町政運営を行い、共創のまちづくりの理念の下、まちづくりの将来像の実現に向けて、町民と行政が一体となり、次代につなぐまちづくりを推進していく観点から編成しました。

第5次白鷹町総合計画後期計画に掲げている人材育成をベースに、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防災」の4つの柱を重点として各種計画等と連動し、PDCAサイクルを徹底します。

そして、総合計画の4つの柱を横断的に結び、『町民の「あんぜん・あんしん」、自然（木）を活かし環境に「やさしい」施設』を理念として検討を進めてきた、中央公民館、図書館、町民の交流スペースとなる町民ラウンジ、防災センター、役場庁舎機能を有する「まちづくり複合施設」工事に着手します。

## 施策の柱 「子育て・教育」

### ① 子育てしやすい環境づくり

出生祝い金や絵本を贈呈する「白鷹つ子養育事業」や、木育の観点から町産材を活用した積木を贈呈する「木育推進事業」に取り組みます。ひがしね保育園において、平成30年度からの民営化を見据え、保育時間の延長とともに2歳児保育を開始します。愛真こども園園舎整備の支援を行います。中学3年生以下の子どもが3人以上いる家庭における第3子以降の保育料を無料化する「多子世帯子育て応援事業」は、対象範囲を

高校3年生相当年齢まで引き上げます。

### ② 教育の充実

老朽化したスクールバスを更新するとともに、あゆかい保育園跡地を鮎貝小学校駐車場として整備します。児童生徒が新聞に親しむ1学級1新聞事業に取り組むほか、スキー授業における白鷹スキー場リフト代の完全無料化や学校給食費支援事業を実施します。中学校での校務用パソコンの更新に合わせ、校務支援ソフトを導入します。英語教育の早期化・充実に対応するため英語指導助手を増員し、小学校にタブレットやプロ

ジェクターを導入しICT教育環境を整備します。

### ③ 白鷹人の育成

荒砥高等学校に対し、新入生応援事業や介護職員初任者研修、教育支援員の配置や部活動等について支援します。

白鷹高等専修学校に対し、学習環境の充実を図るため、施設整備を支援するほか、教育体制充実に向け、置賜管内各市町と連携しながら支援します。

生涯学習は、平成29年度からスタートする町生涯学習振興計画に基づき、白鷹学講座や放課後子どもプラン推進事業、学校支援地域本部事業、家庭教育推進事業などに取り組みます。

生涯スポーツは、7月末より全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール競技大会を開催します。また、若鮎マラソンコースの公認更新申請を行います。

文化財の保護は、国の重要文化財である観音寺観音堂の茅葺屋根全面改修と消防設備の更新を支援します。

芸術文化は、町芸術文化協会や文化交流センター「あゆむ」との連携による各種事業展開や、こ

子育て・教育